学校番号	２０６

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	発展創造英語	2	3	自主教材

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

変化の激しいグローバル社会において、確かな知識と教養を基盤に英語力を高め、多様性を尊重しながら他者と協働し、主体的に課題を発見、問題解決を図りながら最適解を導き出す能力を育成する。
２年時の創造英語に引き続き、4 技能統合学習を通じて英語力の向上を図る。
論理的に考えてインプットし、要点を捉えてアウトプットする練習を、ペアやグループでの作業や意見交換を行う上で繰り返し、自律的に作業を進められるよう働きかける。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	• 病院や役所など公共の施設において、自分の要求することを正確に説明して、必要な手続きを滞りなく済ませることができる。 • 論点の明らかな英文を読み、また、話された英文を聞いて、それぞれのポイントを捉えて、その概要を簡潔に話すことができる。	• 自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 • 社会的なトピックについて幅広く意見や情報の交換をすることができる。	• 旅行などの自分の行動について、物事の順を追って筋道立った文章をいくつかの段落で書くことができる。 • 興味のある社会的なトピックに関して、読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 • 身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 • 慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	その場で与えられた文章を制限時間内に読み、問題に答える。学んだ文法を用いて文章を構成できるようテンプレートを活用しながら学習する。要点を押さえるために効果的なメモの取り方を学び、実践する。	解のない問いについて、議論に参加する生徒が、互いに意見を出し合ったり、情報交換をしたりしながら話題に関する理解を深め、参加者同士の相互理解を深めたり、意見をまとめたり、問題の解決法を見出したり、合意できる部分やできない部分を整理することができる。	英語を通じ、相手に配慮しながら主体的に英語を用いて、健全に議論したり、互いに意見を出し、認め合おうとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	総合英語及びエッセイライティングⅠの内容と関連したトピック	話すこと（やりとり）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	ペアワーク ディスカッション ディベート 振り返り
	中間考査			
	総合英語及びエッセイライティングⅠの内容と関連したトピック	話すこと（発表）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	プレゼンテーション プレゼンテーション 原稿 振り返り
		書くこと	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	ライティングタスク 振り返り
	期末考査			
2	総合英語及びエッセイライティングⅠの内容と関連したトピック	話すこと（やりとり）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	ペアワーク ディスカッション ディベート 振り返り
	中間考査			
	総合英語及びエッセイライティングⅠの内容と関連したトピック	話すこと（発表）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	プレゼンテーション プレゼンテーション 原稿 振り返り
		書くこと	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	ライティングタスク 振り返り
	期末考査			
3	総合英語及びエッセイライティングⅠの内容と関連した	話すこと（やりとり）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。	ペアワーク ディスカッション ディベート 振り返り

	トピック		c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	
		話すこと（発表）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	プレゼンテーション プレゼンテーション原稿 振り返り
		書くこと	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	ライティングタスク 振り返り
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度